

ばんどう文芸

短歌

今井 清 選

ふつふつと茹でたけのこ魂の抜けて素直に食卓にあり
 辺 田 倉持よしえ
 キッチン窓辺に挿した菜の花は喋り尽くして花びらおとす
 法師戸 大関 笑子

くねくねと蛇の進は面倒と咬きながらもわが足すくむ
 中里 直井 正子

競い合う社会に幼の仲間入りじゃんけんしたがる吾に勝ちたがる
 駒 内海 妙子

肩たたたく丁度五十の息子の手あどけなき頃思ひ出してる
 長 須 藤井 久子

霧の中水廻りする軽トラが早苗を揺らし畦道を行く
 平八新田 吉岡 耿

頂きし梅の選別ひと仕事干し梅とジャムにジュースと梅酒
 山 栗原ヤエ子

新しき車に付けしナンバーは孫の誕生日三・二八
 長 須 平田とみい

仏壇の咲き終わりのカキツバタ残りの蕾まだまたたくさん
 長 須 福田みよ子

茹で忘れ菜花二茎挿すコップ厨の窓辺で蕾ほころぶ
 小山 間中満喜子

雑草に挑む孫の草刈り機ピンクのねじ花点々残して
 みむら 倉持 一枝

ひたすらに平和を祈りてウクライナ奏者叩く鍵盤の音色胸うつ
 杓 掛 木村 愛子

県内で唯一公立夜間中第一回の卒業の記事
 長 谷 荒井 勝

【評】一首目、動物の肉体の中ばかりでなく植物にも魂が存在する感覚は鋭い。生命を惜しむ気持ちが充分でている。二首目、菜の花が散っている様子を「お喋り終り」と表現している。「コロナ禍や高齢で友達とおしゃべりが少なくなったことを暗示している。三首目、足はすくんでいながら、蛇を憎んでいない。早く行っと思っていて。自然愛を感じる。十二首目、「胸うつ」には作者も平和を祈っている。最後の歌、記事の報告はしたが、彼らの歩んできた人生を思う気持ちは浅くはない。近隣の水海道夜間中学校がこの春最初の十四人の卒業生を出した。

短歌の作品を募集します！

皆さんからの短歌を広く募集します。投稿される方は、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、掲載希望月の前月20日までに届くように選考宛にお送りください。なお、俳句につきましては、当面の間お休みさせていただきます。
 選考者 今井 清 〒330610604 幸田新田435 ☎0297(35)28864

自衛官募集相談員に任命されました



岩井中地区
飯田裕一さん



岩井中・南中地区
上坂武史さん



東中地区
中村政男さん



猿島中地区
野口雄一さん

自衛隊・自衛官に興味のある方は、
 私たちにご相談ください。

●任期 令和5年4月から2年間

問総務課 ☎0297(21)2178



慌てたり不安になったりするような電話は、一人で判断せず、誰かに相談しましょう